

[特集] 男性育児休業取得促進の取組事例

説得して生まれた育児休業第一号がその後の流れを変えた

社会福祉法人アンダンテ



法人名	社会福祉法人アンダンテ
所在地	福山市引野町南1丁目6番11号
URL	https://www.joyjoywork-andante.jp/



社会福祉法人アンダンテ（福山市）

福山市内に生活介護・就労継続支援・障がい児相談支援など5つの事業所を運営する社会福祉法人。全社員70名のうち、男性育児休業は男性社員6名中4名が取得しています。

取材に答えてくれたのは...

生活介護事業所「ジョイ・ジョイ・ワーク引野」

管理者 池田 晴美（いけだ はるみ）さん

「アンダンテ」の理事であり、生活介護事業所の管理者。先見性のある視点で時代の動向を読み取り、職員が働きやすい環境づくりに努めています。

「社会福祉法人アンダンテ」男性育児休業の3つの特徴

- 2019年以降、男性育児休業利用は100%
- 法人主導で誰もが休みやすい環境を構築
- 看護休暇など、休暇はすべて有償

前例を作ったことで風潮に変化が



「アンダンテ」で最初の男性育児休業が取得されたのは2019年のこと。第一号となった職員は、当初まったく育児休業を取る気はありませんでした。「絶対に取った方がいい!」と強く勧めたのは、施設管理者の池田さんです。「前年にもお子さんが生まれた男性職員がいたのですが、その時はこの人に今抜けられては困る!」という思いから、育休を勧めてあげられなかったんです。そのことにずっと罪悪感があり、次にお子さんが生まれた職員には絶対に育休を取ってもらおうと心に決めていました」と振り返ります。

育児休業に無関心だった職員を「誰にも遠慮することなく休むことができる環境づくりのパイオニアになって」と説得し、なんとか第一号を誕生させることに成功しました。以降は、子どもが生まれた職員全員が2週間の育児休業を取得し、取得率100%を達成しています。「前例ができたことで流れが大きく変わりました」と池田さん。復帰後は、育児休業中に感じたことや良かったことを書いてもらい、「アンダンテ」のHPに掲載しました。これは対外的なPRになるだけでなく、これから育児を経験するであろう職員たちの興味も引きました。

法人主導で支え合いの風土基盤を構築



法人としての取組では、理事長が全職員向け「男性育児休業取得100%」を目指すというメッセージターを配付。出産予定の申し出があった職員には必ず制度の説明をし、取得の意思を確認しています。また、年に1回以上のペースで全職員を対象とした研修会を実施。男性育児休業のメリットなど、家庭と育児の両立支援にまつわる内容で、職員の理解を深めました。各事業所に相談窓口を設置し、育児休業だけでなく保育園の送迎などに必要な時短勤務、早出勤務、家庭の都合による時間調整などにも対応しています。池田さんは「法人としての方向性を示すことで、誰もが休みやすい環境の基盤が整いました。一人目を皮切りに、毎年1名ずつ育児休業を取得していったことで、職場全体の雰囲気も変化したことも事実です」と話します。

一人目の説得に成功した池田さんですが、最初の育児休業の実現に不安がなかったわけではありません。「この時休業した職員は施設内で実質ナンバー2の立場で、サービス管理責任者。もともと福祉の現場はみんなで言うチームプレーなので、属人化した仕事はほとんどありません。誰かが休めば、他の人が代わりに行います。しかしサービス管理責任者という立場は、誰もが務まるわけではありません。それでも周りの職員は休業した職員の仕事を懸命にこなし、『休んでくれたおかげで自分たちのスキルが上がった』と喜んでくれました。休業した本人にとっても、周りにとっても良い影響があったのです」と話します。男性育児休業の取得が、職員全体のスキルアップに繋がっていました。



多様性の時代に対応する選択肢を用意



育児休業のほかにも、子どもが病気になった時などに利用できる有償の看護休暇など、池田さん自身の子育ての経験を活かし、必要だと思ったものはどんどん取り入れていきました。それは男性育児休業だけにとどまらず、生理休暇、つわり休暇、不妊治療休暇など女性に対する対応も同じ。「男性女性に関係なく、いいなと思ったことは取り入れていきたい」と池田さん。こうした取組が評価され、2021年「ふくやまワーク・ライフ・バランス」の認定事業者となりました。仕事と家庭の両立を実現する支援に積極的に取り組む企業として、福山市から認定されたのです。翌2022年には男性育児休業100%の実績から「福山市男女共同参画推進事業者表彰」を受賞。「これからも社会の動向に目を向けながら働きやすい環境づくりに努めていきたい」と池田さんは話します。

一方で池田さんは、多様性の時代だからこそ「育児休業しない」という選択肢があってもいいと考えています。「育休を取得するかどうかは夫婦で決めること。こうでないといけない、はありません。選択肢を増やしてあげることが私たちの役割だと思っています」。現在、男性育児休業の実績は全員2週間ですが、今後はもっと長く休む人がいてもいいし、リモートワークに切り替える人がいてもいい。多様な働き方に柔軟に対応していくことが、男女を問わず働きやすい職場づくりに必要だと答えてくれました。

＼私も育児休業を活用しました／



作業療法士 平賀 源太（ひらが げんた）さん

2週間の育休でしたが、育児の大変さを身をもって知りました。育児休業が終わっても、家事や育児は分担して、お互い協力していきたいと思います。休日には妻を気分転換させてあげることも大切ですね。

（取材日 2023年11月）

当法人は仕事と育児を両立する職員を積極的にサポートします！

理事長からのメッセージ

これから出産を考えている方、出産を控えている方、
法人としては、子どもが生まれた瞬間から子育てを夫婦が一緒に行って欲しい
と考えます。統計学的にも一緒に子育てをした夫婦の離婚率は低いです。
育児休業を利用して、大切な子どもさんに夫婦で沢山の愛情を注いで下さい。



～法人の目標～

男性の育児休業・出生時育児休業取得率 100%を継続する。**【目標休業期間 1 カ月！】**
女性の育児休業取得率 100%も継続する。

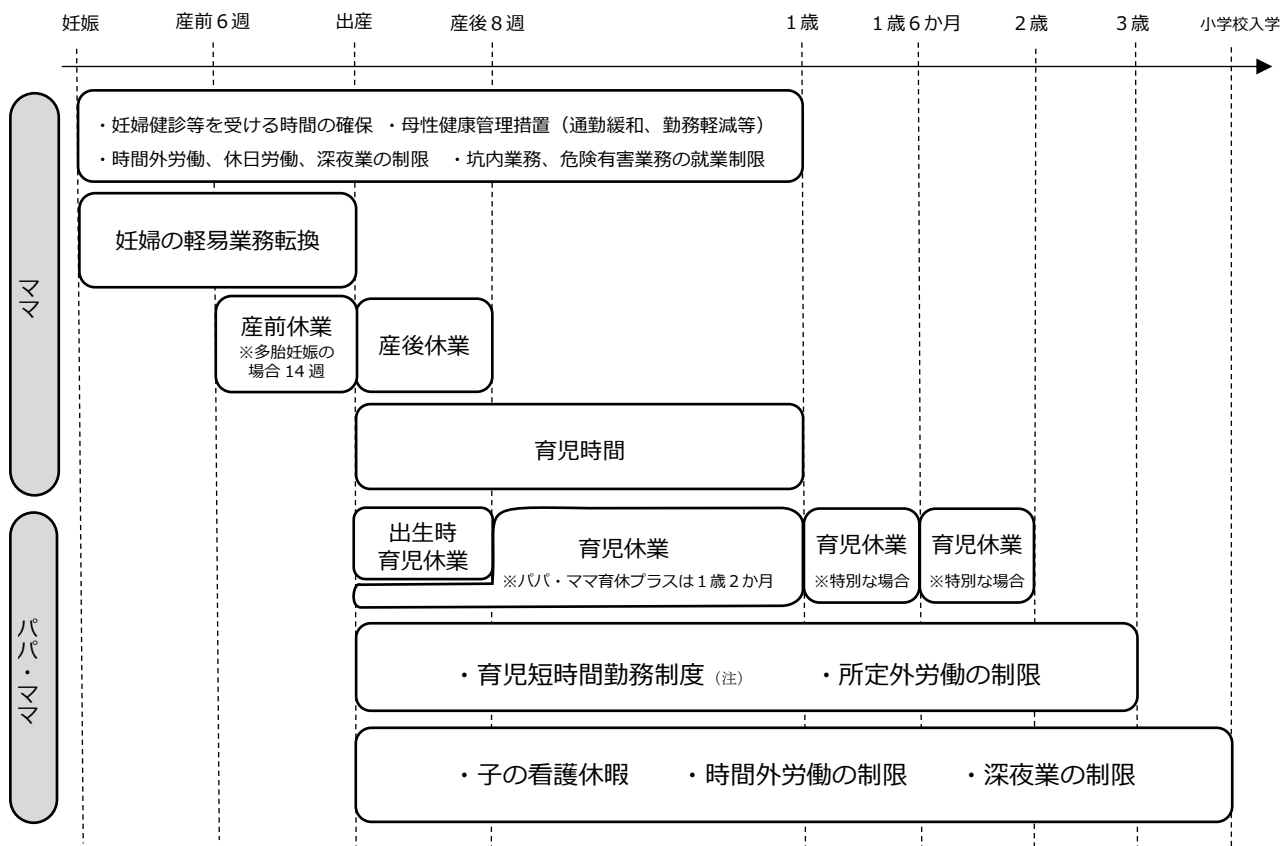
育児休業、出生時育児休業を積極的に取得してください！

そのために、

- 全労働者に対し年に1回以上仕事と育児の両立に関する研修を実施します！
- 仕事と家庭の両立に関する相談窓口を設置します！
- 妊娠・出産（本人又は配偶者）の申出をした方に対し、個別に制度を周知するとともに育児休業・出生時育児休業の取得の意向を確認します！

育児休業、出生時育児休業以外の両立支援制度も積極的にご利用ください！

仕事と育児の両立支援制度概要



制度に関するお問い合わせ、申し込み先

担当部署：ジョイ・ジョイ・ワーク引野、本部事務

☎ 084-971-8600 e-mail: joyjoyhikino@star.ocn.ne.jp

社会福祉法人アンダンテ育児休業推進の考え方

アンダンテは2019年度から2025年度まで男性育休100%です。それはトップダウンから始まり、今は法人の風土が男性育休当たり前になっています。当たり前になったからこそ、今後の男性育休は人それぞれの取得の型があると思います。他社の事例で「育休1カ月＆時短勤務で保育園のお迎え」等、法人と職員さんがしっかり育休取得方法について話し合って、家庭と仕事の両立支援を応援したいです。勿論、「男性育休しません」という選択肢もあっていいと思います。

育児休業実績

年度	女性	男性
2019年度	1名	1名
2020年度	該当者無し	1名
2021年度	該当者無し	1名
2022年度	1名	1名
2023年度	1名	該当者無し
2024年度	1名	該当者無し
2025年度	1名	2名

アンダンテ育児休業の取得事例



所 属 : ジョイ・ジョイ・ワーク引野

氏 名 : S, S さん

取得期間 : 子の退院直後から 2 週間

～アンダンテで、3 人目の男性育児休業取得者～

(取得したいと思ったきっかけ)

- ・まずは、会社側から提案があった。
- ・あと、部署内の職員も取れる様協力してくれた

(配偶者の反応)

育児のやり方の違いなどで不満はあるようだったが自分の時間が取れることに関しては喜ばれた。

(上司・同僚の反応)

上司・同僚とも積極的に取得をするように進めてくれた。

(取得にあたって準備したこと(仕事面))

育休中は、みんなが分担して仕事を引き受けてくれ、特に大きな準備をすることなく育休に入ることが出来た。

(取得にあたって準備したこと(家庭・子育て面))

特に何かを準備したという事はない。

(育児休業中どう過ごしたか)

おむつの交換、ミルクを飲ませるなどは行った。沐浴などは難しかったのでサポートを行った。

(復帰後の働き方と育児について)

特に働き方として大きな変化はないが、特に朝は長男のご飯を食べさす、おむつを替えるだけは出来るだけ行って出社しようと心がけている。

(育児休業を取得した感想)

子どもの生後間もないうちに家族との時間を共有出来てまた、上の子のおねいちゃんとしての成長ぶりなどいろんな発見が出来たことは貴重な体験だった。

(これから育児休業を取得する男性職員へのメッセージ)

夫婦間で育児に関してのやり方の違いでお互いにストレスが溜まる原因となりかねません。事前に育児のやり方や家事のやり方に関してすり合わせをお互いで行っておくことが大切だと思います。ただ、生まれたばかりの時間を一緒に過ごせることは貴重な体験だと思います

【上司からのメッセージ】

45 歳にして第二子のご出産おめでとうございます！第一子の時は育休をとってもらえず、申し訳ありませんでした。アンダンテは 2019 年が育休元年の年でした。2019 年～男子も女子も 100%育休の達成を目指しています。今後は育休取得者として若手への助言をお願いします。

アンダンテ育児休業の取得事例



所 属 : リズム J O Y

氏 名 : H,G さん

取得期間 : 子の出生退院直後から 2 週間

～アンダンテで、4 人目の男性育児休業取得者～

(取得したいと思ったきっかけ)

上司からの薦めがあり、同僚の理解もあったので育児休暇を取得しやすい環境だったため。又、出生退院後の二週間という今しかできない子どもとの貴重な時間を過ごしたかったから。

(配偶者の反応)

初めての子育てで不安があり、1 人では心細かったが育休取得のおかげで一緒に育児ができて心強かった。市役所への提出書類などが多く 1 人では大変だった為、とても助かった。育児についてわからない事は相談し合って 1 人で抱え込まず子育てが出来たのでありがたかった。

(上司・同僚の反応)

入社して間もない時期での取得だった為、申し訳なさがあったが、快く育休取得に賛成して頂き、育休前後の期間もサポートしてもらえた。「ゆっくりと子どもと関わってね」と優しい言葉も言ってもらえた。

(取得にあたって準備したこと(仕事面))

育児休暇取得のための書類の準備。入社して間もなかったので引継ぎは特になし。

(取得にあたって準備したこと(家庭・子育て面))

いつのタイミングでどのくらいの期間の育児休暇を取得するのかを家庭と上司と話し合っ

(育児休業中どう過ごしたか)

買い物や家事など分担し、夜泣きの対応や寝かしつけ、おむつ交換、沐浴などいろんなことを経験しながら貴重な時間を過ごせた。日に日に大きく育つ子どもの成長を感じられて良かった。

(復帰後の働き方と育児について)

育児休暇を取得して 2 週間の期間だったが育児の大変さが分かった。そのため復帰してからも家事・育児を分担してお互い協力していきたいと思う。休日には妻の気分転換をさせてあげることも大切だと感じた。

(育児休業を取得した感想)

とても貴重な時間を過ごさせて頂いたと思う。妻の体調も安定しない中で育児のサポートをする時間が取れたのはとても良かった。育児の大変さは育休を取得しないと分からなかったと思います。上司、同僚の理解があったので育休前後も働きやすく助かりました。

(これから育児休業を取得する男性職員へのメッセージ)

育児休暇 100%の企業なので遠慮なく育児休暇を取得できます！子どもとの今しかできない経験や時間を過ごすことができるので育児休暇を有意義につかって楽しんでください。

【上司からのメッセージ】

生後の貴重な子育ての時間を奥さんと共有でき、良かったと思います。今後も休日や仕事から帰ってから、たくさんお子さんとの触れ合ってください。家事の手助けもしてあげてくださいね。

アンダンテ育児休業の取得事例



所 属 : ジョイ・ジョイ・ワーク引野

氏 名 : H,S さん

取得期間 : 子の出生退院直後から 2 カ月

～アンダンテで、5 人目の男性育児休業取得者～

(取得したいと思ったきっかけ)

1 人目出産直後に入職し、法人が男性の育児休業取得を推進している事を知り、2 人目の時には取得したいと思っていました。また育児休業に関する説明や実際の事例があったことでより取得したいと実感が湧きました。

(配偶者の反応)

1 人目の育児の際に、産後や育児の大変さを強く感じたりワンオペへの不安が大きかったのがある為、「心強い、ありがとう」という言葉かけをもらいました。

(上司・同僚の反応)

上司からは、「しっかり制度があるんだから、遠慮しなくていいよ」と言ってもらえたり同僚からは、「大変だけど、頑張って」と子育て経験者が多く温かい声掛けをして頂きました。

(取得にあたって準備したこと(仕事面))

日々、自分が担当していた業務の引継ぎ、イレギュラー業務などを部署のスタッフに説明を行った。

(取得にあたって準備したこと(家庭・子育て面))

出生児に必要な行政・手続きの確認と夫婦での役割分担の確認を行った。

(育児休業中どう過ごしたか)

上の子の保育園送り迎え、洗濯物、風呂掃除、部屋掃除、食器洗いを中心とした役割で育児をしていた。

(復帰後の働き方と育児について)

上司と復帰後の働き方について事前面談をしたり育児の経過についての話をして随時相談できる環境調整をして頂きました。

(育児休業を取得した感想)

今回 2 人目で初めて育児休業を取得しましたが、出産時期から一日中接することで日々の成長を身をもって感じることでより愛着が湧き良い機会になったと思います。

(これから育児休業を取得する男性職員へのメッセージ)

法人全体で男性の育児休業を推進してくれる為、取得しやすい環境にあります。出産時期の子育てを体験できる時期は限られているので、この制度を活用して是非とも子どもさんと関われる時間を大事にして欲しいと思います。

【上司からのメッセージ】

育児休業の取得、本当におつかれさまでした。ご家族との時間を大切にされたことを、職場としても心から歓迎しています。これからも育児と仕事の両立を応援していきますので、遠慮なく相談してください。」

アンダンテ育児休業の取得事例

所 属 : リズム J O Y

氏 名 : H,G さん

取得期間 : 子の出生退院直後から 1 カ月
～アンダンテで、6 人目の男性育児休業取得者～



(取得したいと思ったきっかけ)

前回も育児休暇を取得させて頂き、貴重な時間を過ごすことが出来ました。今回も育児休暇の相談をしたところ快く取得を認めて下さり、安心して育児休暇を取れました。

(配偶者の反応)

前は 2 週間の取得だったが今回は 1 か月と期間も長く取ってくれたので助かった。今回は市役所への書類提出に加え、長男の保育所の送迎もあったので育児休暇取得はありがたかった。

(上司・同僚の反応)

育児に理解のある上司・同僚だったためスムーズに育児休暇期間に入ることができた。

(取得にあたって準備したこと(仕事面))

育児休暇取得にあたっての書類の準備。育児休暇の期間、改正された制度の確認。

(取得にあたって準備したこと(家庭・子育て面))

2 度目の育児休暇取得だったため準備は特になく上司と円滑にコミュニケーションを取り日程を決めた。

(育児休業中どう過ごしたか)

家事の分担、夜間の対応、市役所への書類提出、長男の保育所送り迎え等、すべきことはたくさんあるので 1 か月の期間はとても早く感じた。

(復帰後の働き方と育児について)

復帰後も育児はずっと続くので上司・同僚としっかりとコミュニケーションを取り働いていきたいと思う。又、育児の大変さも分かったので育児・介護で困っている同僚などお互いに協力していけたらと思う。

(育児休業を取得した感想)

快く育児休暇取得させて頂き、今しかない貴重な時間を家族と過ごすことが出来ました。1 人目と 2 人目では育児の負担も大きく変わるので大変育児休暇期間は助かりました。

(これから育児休業を取得する男性職員へのメッセージ)

家族との時間を優先して率先して育児休暇を取得して大切な時間を過ごしてください。

【上司からのメッセージ】

復帰後しばらくは、生活リズムの変化や育児との両立などで、これまでと勝手が異なる点も多いと思います。業務内容や働き方で配慮や調整が必要なことがあれば遠慮なく相談して下さい。今後も、育児と仕事を両立してもらいたいと思います。